



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006.03.16

No. 29 - 34

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office@alpajapan.org

## Boeing 747-400 freighter 与圧試験中に事故

### ノーズカーゴドアが激しく吹き飛ば

ボーイング社のエバレット工場内で3日午前1時頃、最終組み立て中のB747-400貨物専用機が、ハイ・ブローと呼ばれる与圧試験中に、ノーズカーゴドアなどが激しく破損する事故が起きた。従業員にけがなどはなかったが、工場内の設備に重大な損害が出たもよう。

事故後に現場を見た従業員によると、ノーズカーゴドアが、激しく吹き飛ばされ、操縦室部分を貫き、窓ガラスを粉々にして、機体に構造的ダメージを与えた。アルミニウム製の貨物ドアは、表面が後方に剥がれ、レドームも破損し、片側にぶら下がった状態だった。

ボーイング社の広報は、B747-400貨物専用機の与圧試験中に事故があったことを認め、原因は究明中で、別途破損状態の評価と修理方法を検討中としている。損害額や修理に要する時間は不明。B747-400貨物専用機の価格は、現在247億円から279億円である。この機体は、最終組み立てラインにあり、工場から出る直前であった。機体の引き渡し先は明らかにされていないが、関係者によると中国の航空会社向けとされている。

行われた与圧試験において、機体内部に1平方インチ当たり約3ポンドの圧力を加えたところで事故は起きた。従業員は、カーゴドアが激しく吹き飛ばされ、重症を負う可能性があったらと述べている。このような試験は、万が一の事態を想定して、最も従業員が少ない、第3シフトの時間帯で実施されている。

Mar.04/2006 Seattle Post Intelligencer

ハイ・ブローテストとは、飛行機が9万2847フィート(通常飛行高度の2倍以上)を飛行しているように加圧し、検査官がエアリークのないのを確認することです。

日乗連では、引き続き世界の動向を注視し、最新の情報をお伝えします。

